



Vol.18～2011.12

こんにちは。メルマガ 12月号をお届けします。

暑かった日々が嘘のように、大阪では厳しい寒さが続いています。冬休みを目前にして、部員の皆は中間テストの準備で忙しそうです。ワングル活動に勤しむのもいいけれど、単位取得を疎かにしてはいけませんよね（自戒）。

さて、今回は 10 月に行われた山小屋 W、11 月に行われた秋合宿と L 養 I についてお届けします。

== Index ==

- 山小屋 W ～落とし穴を掘る～
- 秋合宿 ～山ガール 100 人見つけました～
- L 養 I ～そうだ、京都に行こう～
- 部員紹介 ～55 期次期 Leaders～

2011/10/8～9 山小屋 W
～落とし穴を掘る～

今回の山小屋 W では暮雪山荘の修繕、その周辺の看板の修復、登山道の整備などを行いました。天気もよく、秋山を楽しめました。土木作業担当の人たちで作業が終わってから落とし穴を掘りましたが、誰も引っ掛からなかったようです。また普段はなかなか聞けない OB さんのいろいろな話を聞くことができました。 (文責：堀)

夏合宿が終わって新学期が始まって初めての合宿でした。正直出発する前はしんどいなと思っていたのですが、新歓の時とは違って涼しくて快適な山行で、小屋での作業も落とし穴を作ったり（笑）と思い出に残りました。歩荷も軽く感じて、ちょっとは僕の山行力が上がったのだなと実感できた合宿でした。 (56 期 工 1 出口 亮)

次期山小屋委員の五十嵐です。今回の山小屋の修理活動を見て、山小屋の保全是大事だなと感じました。OBさんも個人山行で使っているようですし、ワングルの財産ですので、みんなで大切に扱っていかうと思いました。

(55期 基2 五十嵐 尋)

2011/11/3～7 秋合宿

～山ガール 100 人見つけました～

僕らに『まちかね祭』なんてものは存在しません。今年もこの時期を利用して秋合宿に行ってきました。今年は屋久島、しまなみチャリ、四万十チャリ、鹿児島 24 時間耐久ロードが企画として提出されました。しまなみチャリはしまなみ海道を島伝いに横断し、四万十チャリは JR 高知駅から輪行を挟んで足摺岬経由で宿毛まで行きました。屋久島は縄文杉を見学して世界遺産を体で感じ、鹿児島ロードは志布志港から桜島港まで夜通し歩き、大隅半島を横断して体中に痛みを感じました。僕はロード合宿に参加して、コンビニの便利さ、ありがたさを再確認してきました。大学生の今しかできない、貴重な体験ができたように思います。また屋久島では山ガールが大量に居て、皆のテンションがあがったようです。来年は是非ともメッチェンが欲しいところです。

(文責：松尾)

屋久島

屋久島は今までにない九州の山ということで、どんな感じなのかなと楽しみでした。苦労して作った企画書のおかげで、山行自体はスムーズに行きましたが、避難小屋がいっぱいだったり、テント本体の袋が無くなったりと、それ以外でのパプニングが多かったように感じます。ただ山の雰囲気や空気は、世界遺産特有の神秘的なものを感じ、実際に行かないと分からないと思いました。リーダーさんたちとも練成とはまた違った感じで、さらに親睦を深めることができたと思います。そして来期は、僕もこのような合宿を企画して後輩たちと楽しく合宿できるよう、先輩達からいろいろ学ぼうと思いました。

(56期 理1 河相 圭亮)

しまなみチャリ

今回は今までにない自転車の合宿ということで、どんな感じなのかなと楽しみでした。苦勞して作った概念図のおかげで走行自体はスムーズに行きましたが、宿泊地が無くなっていたり食当の仕事が無くなったりと、それ以外でのパプニングが多かったように感じます。ただ、しまなみの潮風や空気にはしまなみ海道特有の爽快感を感じ、実際に行かないと味わえないと思いました。



島の中には勾配が急な坂も多く、心身ともに鍛えることができましたと思います。最終日は道後温泉にも行け、充実した合宿だったと思います。

(56期 工1 平井 皓基)

四万十チャリ

後輩からの電話の着信音で目が覚めました。時間は午前 6 時。集合時間です。あわててチャリに乗り、北伊丹駅で先輩に全力で謝罪しました。



このように、僕の四万十チャリ合宿は完全なる遅刻から始まりました。幸先の悪い出だしでしたが、案の定天気もあまり良くなく、ポツポツと時折降る雨がチャリ合宿のムードを邪魔しました。しかし、さすが日本最後の清流というべきか、四万十川の水は透き通っており、川底まではっきり見て取れるほどでした。あまりのきれいさに、2人の後輩は岩間沈下橋から飛び降りるほどでした。2人

の勇気はすごいと思い、風邪をひかないよう早く着替えるよう勧めましたが、そのうちの1人は着替えも持っていないとのこと。前言撤回、勇気と無謀は違うと思いました。

この他にも、合宿では楽しい思い出がいっぱいです。サイト地での肝試し、地元の野菜料理バイキング、沈下橋ポーズ、ワンゲルの合宿ではレアなペンション宿泊、打ち上げ代

わりの BBQ、足摺岬の中心で愛を叫ぶ。まだまだ語れないほどの出来事がありましたが、どれも僕にとって大切な思い出となりました。調子に乗った上り坂での両手放し運転から、僕のデジカメは途中で壊れましたが、しっかりと僕の心のメモリーに保存してあります。

また、今回の合宿ではスマートフォンが大活躍しました。スマートフォンにインストールされている Google Map を起動させて、チャリのハンドルに専用のホルダーを設置して固定させます。これにより、走りながらも現在地や目的地までのおよその距離を確認できます。昔ワングルのチャリ合宿では、針金で地図をチャリに括り付けていたと聞いていますが、これも時代の変化かもしれません。

(55期 法2 伊藤 俊輝)

鹿児島 24 時間耐久ロード

九州 24 時間耐久ロードに行ってきました。過ぎてしまえばあっという間の合宿だったと思います。というかあまり記憶に残っていません。ただひたすら歩き続けた結果、足が爆発してしまったのが非常に残念です。

桜島は別の機会に来ればいい思い出になったと思いますが、今ではトラウマでしかありません。替えの足があればもっとアフターを楽しめたと思います。でもこういう狂気の沙汰を皆で共有できる合宿は一生に一回しか味わえないと思いました。



(56期 理2 山下 聡史)

2011/11/26~27 L 養 I

~そうだ、京都に行こう~

L 養 I として、京都北山の天ヶ岳に行ってきました。京都の色とりどりで美しい紅葉を楽しめたようです。2 回生は P.L. や S.L. として、1 回生が C.L. や Second として歩いた初めての合宿となりました。1 回生は今まであまりよくわからなかった読図をとことん鍛え、来年新入生を迎えるために様々なことを学んだようです。また、今まで上回生に甘えていたのだなと感じた合宿でもありました。これからも頑張らないと。

(文責:堀)

今まであいまいだった読図も L 養 I からは責任をもってしなければならないということで少しプレッシャーでしたが、自分の party が地図上のどこにいるかを自分で判断できたのでこれまでより楽しい山行になりました。しかし、読図ポイントを見逃したり、自分がコース L のときにはミスコースしかけたりと不安要素がたくさんありましたので、無事に新入生を迎えることができるよう頑張っていきたいと思います。

(56期 文1 林 貴哉)

晩秋の京都の山は紅葉でとてもきれいでした。さすが京都という上品さでした。読図は大変でしたが、山行中色々考えることができより合宿が有意義になりました。また後半コースリーでミスコースしたことで、読図にいかにか正確性が求められるかを身をもって実感しました。ワークは厳しかったですが、上回生になるにあたり行動に責任を負うことは必然なので、もっと引き締めていこうと思いました。総じて今回の合宿は楽しかったです。

(56期 法1 梅澤 啓)

紅葉の京都ということで、綺麗な景色を堪能しながら山行できました。今回の合宿を通して、上回生の役割を学び、上回生になるための準備の大切さを身をもって学ぶことができました。今までは上回生についていき、楽しむことしかしていませんでしたが、これからは後輩を助け、合宿をより楽しいものにしていくために盛り上げていこうと思いました。

(56期 経1 増井 慎一)

今回の合宿は11月の下旬ということでとても寒かったですが、天気も良く紅葉を十分に楽しむことができました。京都北山は初めて行く山域でしたが、お寺が近くにあるらしく京都独特の落ちついた雰囲気が漂っていました。また、今回は初めて P.L.として合宿に参加しました。人についていく側から連れていく側になったのに戸惑いましたが、特に大きなハプニングもなく合宿を無事に終えることができほっとしました。まだまだリーダーとして足りない点も多いのでこれからも頑張ります。

(55期 基2 北野 翔大)

今回は京都北山へ行ってきました。鞍馬駅に着くと天狗が出迎えてくれ、いつもの比良や六甲とはまるで違う雰囲気に期待が高まりました。山行中も天候に恵まれて本当に良かったです。今回の合宿では P.L.を務めさせていただき、合宿を運営することの難しさ、責任を負うことの重大さを身をもって学びました。今回の経験を生かし、立派なリーダーになるよう精進してまいります。

(55期 法2 野田 英明)

部員紹介
～55期次期 Leaders～

今月も3人紹介します。



・五十嵐 尋

大のディズニー好きである五十嵐さんはよく部員にディズニー映画の宣伝をします。本屋でバイトをしており、流行りの本などの事情には詳しいです。学生寮に住んでいて、合宿から帰ってきた後ザックや食器を廊下に置いたままにしておいたら、掃除のおばちゃんに「廊下に置いてあるものは捨てますよ！」と危うく捨てられそうになったり、捨てられてしまったりされたようです。明るい五十嵐さんは、いつもワングルに楽しい話題を提供してくれます。

・北野 翔大

北野さんは一見大人しい感じの人ですが、やるときはやるぞ、というようなしっかりした人です。L養で56期がたるんでいたときに、ただ一人叱りつけたのは北野さんです。しかし、話してみるととても気使いのある優しい人であることが分かります。知識も豊富で読図講習のときなどもしっかり教えてくれる後輩思いの先輩です。



・笹原 貴志

笹原さんは大のポケットモンスター好きで、いつも会話の中にポケモンネタを繰りこんでくるほど。部ではポケモンキャラで完全に定着しています。よく奇声を発したりするなど仕草がおもしろくて、とても楽しい人です。理学部で化学を専攻されていて、成績はかなり優秀だとか。後輩の面倒見も良く、とても頼りになります。



WATARIDORI 通信 12 月号お楽しみいただけただでしょうか。活動内容、現役部員の感想などが伝わっていただければと思います。

10 月号のアンケートでは夏合宿の思い出についてお聞きしました。夏合宿を襲った台風についてのこと、新歓での緊張と不安、歩荷量などについてご回答をいただきました。新歓での緊張や台風については僕自身の経験と照らし合わせながら楽しく読ませていただき、またシュラフがたたためないと書かれた方がいらっしゃいましたが、たたむのにとっても苦労してワークに時間がかかってしまったことを思い出しました。初めてで素早くこなすのは難しいですね。僕の思い出としては、何ととってもトムラウシ山の山頂から見た美しく雄大な北海道の景色ですね。それと豪雨の中を歩いたことかなあ。

いただいた質問に装備についてのものがありましたが、鍋、バーナー、テントなどどれも壊れた箇所を直しながら長く使っているようです。どれも丁寧に扱うよう先輩から指導されました。できるだけ新しいものを買わなくていいようにしているのだと思います。

さて、春合宿の企画としては、短期は無人島、チャリ、スキー、山、長期は西表、チャリが出ています。お伝えするのは 4 月号になりますが、1 回生にとっては初めてのものも多く、現役部員の生の声をさらに伝えられると思いますのでご期待下さい。なお、2 月号はクロカンレースについてとなります。そこで今回のアンケートでは「クロカンレースの思い出」についてお聞きします。お忙しいとは思いますが、ご協力お願いします。

アンケートページ : <http://www.ouwv.org/enquete/enqform1112.html>

ギャラリーページ : <http://www.ouwv.org/mailmagazine/gallery1112.html>

メルマガ委員 : 松尾 勇汰、堀 裕貴